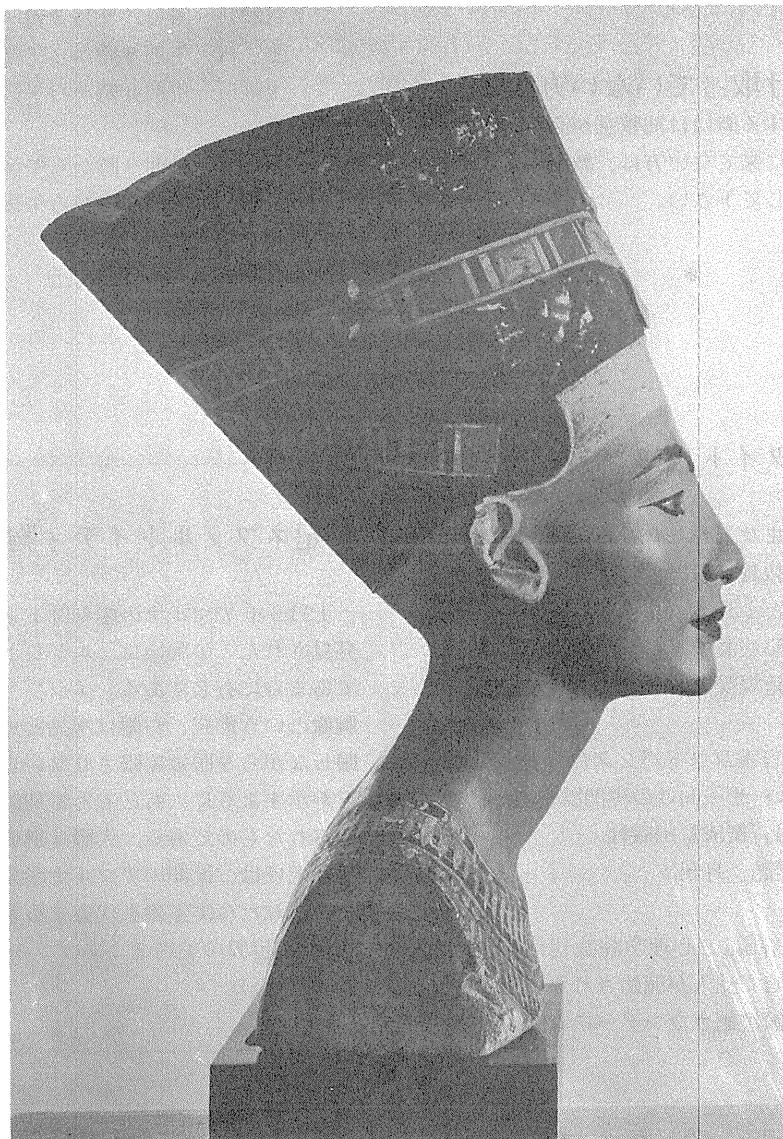


北里大学教養図書館

閲覧ニュース

43号

1984. 6



前期試験に備えて

1) 開館延長

7月7日、14日の両土曜日は午後3時まで開館します。(平日は午後6時まで)

2) 一部図書の貸出期限変更について

試験期になると、一部の図書に利用が集中しがちです。このため、予約の多いものに限り、一夜貸し、三日貸し等の措置をとることがあります。

閲覧証を受け取っていない方へ

図書館を利用する時には閲覧証が必要です。

まだ受け取りに来てない方は、教養図書館カウンターまでいらして下さい。

* * *

雑誌ニュータイトルについて

最近はさまざまな分野でコンピューターの活躍がめざましく、教養部における計算機関係の数学ゼミ参加者はもとより、広く皆さんの間で関連領域の雑誌への関心が高まりつつあります。このたび下記の雑誌の新規受入が決定しましたので、ご活用下さい。

『OH! FM』日本ソフトバンク社
(パソコン・ユーザー向けの専門誌、月刊)

『RAM (ラム)』廣済堂出版社
(マイコン専門誌、月刊)

なお『心理学評論』(心理学評論刊行会、年2回発行)もあわせて受入が開始されることとなりました。詳細は図書館カウンターにお問い合わせ下さい。

* * *

夏休み中のお知らせ

夏期休暇中の開館、貸出等については下記のとおりとします。

1) 長期貸出

貸出期間 7月19日(木)～9月19日(水)

冊数制限はありません。

(但し雑誌は対象外です)

2) 開館時間

7月23日～31日、9月3日～14日

平日 午前9時から午後5時まで

土曜日 午前9時から午後1時まで

8月

平日 午前9時から午後3時まで

土曜日 午前9時から午後1時まで

3) 閉館

8月13日(月)～8月18日(土)

表紙解説

王妃ネフェルティティ胸像

1912年アマルナの彫刻師トメスの工房址で発見されたこの胸像は、エジプト彫刻の代表としてあまりに有名である。エジプト彫刻には珍しい胸像という形式、右眼は水晶と黒色の練り物で象眼しながら左眼は象眼されないままであることなどが示すように、もともと彫刻師の手本としてつくられたものである。大胆な構成と繊細かつ入念な仕上げは、後期のアマルナ彫刻の特徴である調和のとれた写実主義を代表するものと言えよう。

『大系世界の美術3：エジプト美術』(708/Ta 22/3)より

英国図書館とのつきあい

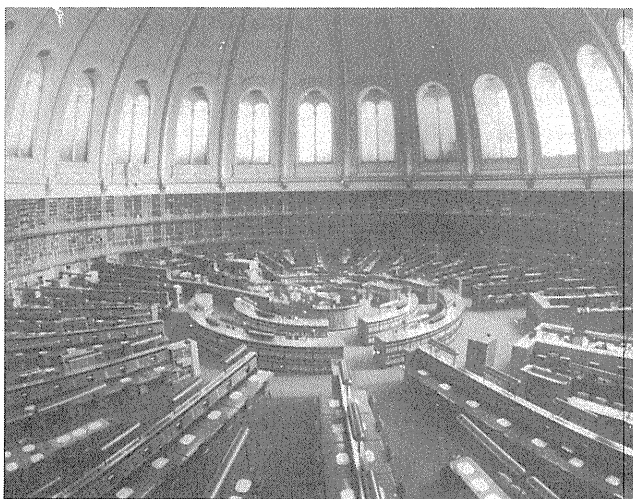
島田孝右

英国図書館といっても、あまりピンとこないと思いますが、英国博物館の真中にある世界最大の図書館です。マルクスがかよったことでも有名です。私は、ここで調査する時には、必ず一度はマルクスと同じ席につくことにしています。別に彼にあやかるともありませんが。ここでは、よく北里大学で英語を教えておられました若い先生に会いました。彼女は毎日やってきて、夜おそくまで勉強されていました。本当によくがんばっているなあーと感心しました。専門がシェイクスピアだそうで、私には全く理解できない分野ですが、何だかすごいなあーと思いました。(真面目)。

写真でおわりの通り、読書室の周りは全部本です。私の目的は、十九世紀以前に書かれた英語の本を全部調査し、中国と日本について言及されている本の文献目録を作ることですから、一千万冊ある本は、まさに宝の山なのです。そんな目的にあまり意味があるとも思いませんが、誰が何といおうと死ぬまで続けようと思っています。一千万冊の本の中には、大変貴重な本があります。日本ではとても見せていただけない程の価値ある本が、簡単に読めるのですから、本当に英国はいい

なあーと思ってしまいます。ダイグレーション(だから、お金をあまり使わないようにと、毎日同じものを食べることもがまんできるのかも知れません。一ヶ月同じソーホーの店で同じメニューを注文しますと、中国人のウェイターさん、ウェイトレスさんが、私のことをよくおぼえてくれ、たまに、島田さん、今日は別のメニューにしたらと言いますが、それも二、三度がまんしますともう安心です。あきらめて言わなくなります。私はカレーライスを三ヶ月間毎日食べた記録をもっています。)貴重本をいちいち読んでいますと時間が足りませんから、どの本をマイクロフィルムにするか決めて、日本に帰ってから英国図書館に注文して作ってもらいます。教養部図書館に、マイクロフィルムを読むリーダーがありますから、研究の基本である原典にあたることができる訳です。英国図書館の司書さんは、皆さんなかなか物知りですから、利用者は安心して色々教えていただけます。北里大学は理科系大学ですから、文系の大学のように貴重本を数多く集めることは無理だと思いますが、いつの日か、少なくとも英国図書館のようなドームを持つ中央図書館ができるにちがいないと期待しています。

もっとも、その頃私はどうなっているかわかりませんけど。
(英語)



The British Library REFERENCE DIVISION

“心の中に生きている

ブルース・リー”

志 村 邦 義

日本では勿論、アメリカ及び西欧諸国にまで、空手を主とする武術が爆発的な人気を呼び始めている。

今日では、原爆・水爆といった兵器産業が原子エネルギーを生み出し、闘争の唯一の科学武器としてますます発達し、コンピューター化されているにもかかわらず、原始的な空手道が、今なお存在し、しかも、ますます普及発展の傾向にあるのも不思議なようである。それは、人類がこの地上に社会的に存在する限り、つねに人間として不可欠な、本質的なものを持っているからだと思う。

今や、世界は空手ブームになりつつある。事実、空手映画やテレビが、次々に大ヒットを起していることが何よりの証拠ではなかろうか。私自身、大の空手愛好者であるので、今日の空手ブームは、何となくわかるような気がする。何故なら、今日の空手ブームをまき起しているものは、映画俳優でもあり、武術家でもあった、あの世界的スーパースターのブルース・リーの影響と云っても過言でないような気がする。

若くして、突然に逝った現代の英雄的存在だったブルース・リーの死は、未だ謎につつまれている。何故、あれだけの人気を呼び、大勢のファンを湧かせたのか。…

彼のファンの一人でもある私自身、彼の俳優として、映画に対する情熱と演技は勿論、武術家としての素晴らしい才能に敬意を表すると共に、彼のその偉大さを今更乍ら改めて認識している。

そこで、何が、彼を世界のスーパースターの座につかせたのか…彼の魅力と、そして、彼の秘められた才能を私なりに探って見たいと思う。

彼は映画スターでもあり、その反面、非常に優れた武術家であった。更には、熱心な宗教家でもあった。それは、スクリーンの中での彼の演技を見ていると、彼の才能は、禅宗的な思想と実践の結果として現われているからである。そこに、仏

教の教えが伝わってくるような現世的な偽りの感覚に惑わされるようなところがなく、自分の秘められている事実を実践の中に発見し続けた人物だった。彼は、映画スターとしての華麗なファイターでもあったし、そして、東洋と西洋の両方をコミュニケーションすることのできた有能な人物であったことも誰れもが認めることである。彼は非常に燃えた男であった。そして、彼は閃光のように人生を生き、花咲いた。また、彼はナポレオンのような感覚で、自分の持つ可能性をとらえ、エネルギーにそれに向かって突き進んだ。更には、彼の野望は、ショー・ビジネスとしての映画づくりと彼独自の中国拳法「截拳道」(ゼッケンドウ)練武に情熱を燃した。

彼はファンに向かってこう言っている。

「私は、闘技のテクニックだけに頼って、役をこなしているのではない。それよりも、私自身のパーソナリティと、私の肉体、私自身の表現によって、役を埋めているので、決して、私は演技をしているのではない」また、「私のアクション映画はリアリティ(現実性)とファンタジー(空想)の間にあり、その激しさがあるからこそ、自分のすることを信じ、そして、観客も私のことを信じて見てくれるのだ」と胸をはって言っている。

このように、ブルース・リーの名は、歴史の中にひとつの脚注として書き込まれ、永久に伝え継がれるだろう。それは、彼が中国人として、事実、初めての世界的スーパースターの地位を獲得したことだ。日本で、そして、欧米で武術のことを語る時、必ず彼の名と、その伝説を抜きにして語れない。

現に、彼がこの世を去って11年になるが、日本を初め、世界の映画界に於いて「少林寺拳法」なる映画が旋風をまき起し、大ヒットを重ね、つねに脚光をあびている事実は隠せない。また、香港映画産業をここ迄、開花させ、世界中の観客を集め、後継者達に道を開いたのも彼の大きな功績だと確信したい。

俳優としての彼、そして、武術家の優れた師範としての彼の、あそこまで鍛えあげられた人物にも秘められた部分があった。

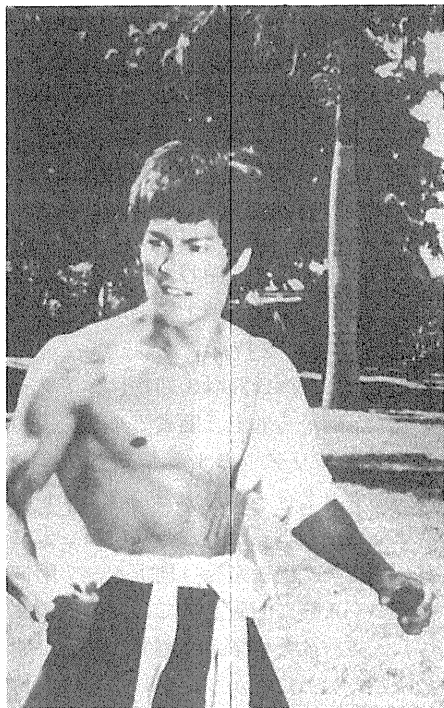
それは、何かというと、非常に熱心な読書家であったことだ。彼は子供の頃から、古本屋をあさるのが大好きであった。その証拠に、彼は膨大な蔵書を所有していたことだ。彼は、拳法ばかりでなく、日本の剣術、アメリカン・ボクシング、レスリング等の他、色々の国の闘技に関する本を多く集めていた。また、武術に全く関係のない難しい哲学書をはじめ、あらゆる書物に興味を示し、それらを片ぱしから読みこなし、そこで得た多くの知識を取り入れ、応用し、最高の哲学的武術を目指していたことだ。

彼の夫人であるリングの語るところによれば、彼は、本など読む暇がないだろうと思うのだが、彼は本をいつも手離さずに、また、時には、体操をしながらも、神経を集中させて本を読んでいることが、しばしばあった。また、子供達が泣きわめき、ドアの開けたてする音の響き、それに人々が入り出している所でも、彼はまるで自室の中で一人こもった修道僧のように、身体を屈伸させながらも本を読んだという。

更に、彼について、彼の映画出演に関係したプロデューサーをはじめ、大勢の監督は皆、口を揃えて、彼は禅や回教について、人に充分に話しをして聞かせる程の教養を身につけていたと云っている。それは前文にも記したが、彼は、実に多くの書物を読んでいたのだ、これらのことはわかるような気がする。また、彼は神を信じていなかったようだが、彼を見ていると、多分に霊的なものを持っていたのではなかったか…とも云われている。それは、彼が精神と肉体とを見事に総合し、調和のとれた人物だったからである。だからこそ、映画の中であれだけの迫力のあるアピールする力が出せたのではないだろうか。

何んといっても、ブルース・リーは燃えるような情熱を武術一筋にそそぎ、武術が彼の人間関係をも決定したような気がする。その結果が、世界中に空手映画をヒットさせたのではなかろうか。

彼の最後の作品となってしまった「燃えよドラゴン」は、今なお、リバイバル映画として放映されているが、本当に迫力があり、見事に主役を演じている彼の才能はやはり偉大であるの一言しかない。この映画が、アメリカで公開される1カ月



前の1973年7月20日、彼は32才の若さで、全く突然にこの世を去った。「燃えよドラゴン」の映画は彼の記念碑であったように思える。

彼がこの世を去って11年が過ぎた現在、第二のブルース・リーの出現とも云われる、中国空手道界No. 1の若手武術家、ジャッキー・チェンが映画界にデビューし、少林寺拳法の極意を見事に披露し、次々に空手映画をヒットさせて、私達、多くの空手アクション映画ファンを楽しませてくれている。

今後、第三、第四…のブルース・リーなる武術家の出現と、そして、永遠に彼の功績が受け継がれていくことを望んでいる。

最後に、武術に限らず、その道の完成された人物というのは、毎日のたゆまない努力とよりたくさんの書物を読み、豊富な知識を保有することが、最大の条件のような気がする。(体育)

注

ブルース・リーの中国名

李振藩 (リ・ジュンファン)

図書館見学記

— 慶応義塾図書館・新館 —

佐藤嘉子

慶応義塾図書館の新館を見学させていただいた。ここは昭和57年4月に開館した、大学図書館としては日本で最大の規模（地上7階地下5階、延床面積15,188平方メートル）を持っている。

慶応出身の榎文彦氏設計の建物は、アクセスしやすい地下1階から地上3階までを、利用の集中するサービスエリア（B1AVホール、1F受付・貸出カウンター・目録ホール等、2F閲覧室、3F雑誌室等）として配置されていた。またセミナー室、事務室、機械室等は地上4～7階に、書庫は地下1～5階に配置されていた。累積性が重視される人文、社会科学系図書館の資料は閉架方式をとっているところが多いがここでは、1階入り口のBDS（無断帯出防止装置）によるワン・ポイント・チェック方式（チェックされているという圧迫感はない。）の採用により、原則と

して開架方式がとられている。このためか館内では利用者が、開放的で自由にのびのびとしているように感じられた。

この新館では、雑誌約13,000種が収められているが、これは文学・経済・商学・法学の各学部の理解と協力により、研究者用雑誌すべての集中化が実現したものであり、この大きな特徴と言える。単行書の蔵書は80万冊を超え、地下の書庫だけで115万冊の収容能力がある。

高層建築は図書館として不利な条件であると言われているが、広いフロア等その工夫された設計に感心した。

最後に2階の壁一面に画かれたジェニファー・パートレット（Jennifer Bartlett）の“at Sea Japan”の様々に変わる藍色を鑑賞しながら別れを告げた。

慶応義塾図書館・新館について詳しく知りたい方は「図書館利用案内シリーズ1～18」がカウンターにありますので御覧下さい。

（教養図書館）

編集後記にかえて

■閲覧ニュース第43号をお届けします。この閲覧ニュースが利用者と図書館を繋ぐコミュニケーションの場となればと願っております。皆さんからの具体的な提案や希望などどしどしお寄せ下さい。

■島田先生、志村先生から原稿をお寄せ頂きました。島田先生は昭和50年から51年まで英国のオクスフォード大学に留学され、主に図書館と研究の

お話を、志村先生には映画でおなじみのあのブルース・リーの知られざる一面をエピソードをまじえ、それぞれお書き頂きました。

■4月より独語の吾妻先生が館長になりました。前館長の小野先生にはⅡ期4年にわたり、色々と御尽力いただきました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

閲覧ニュース43号

発行責任者 吾妻寛治

1984・6

発行

北里大学教養図書館

〒228 相模原市北里1-15-1